

凡 例

○本書は東京芸術大学美術学部の前身である東京美術学校の明治三十二年から大正八年までの歴史を資料を中心に編集したものである。

○本書は全体を三章に分け、章中を節に分け、さらに第一巻補遺篇を加えた。

○第一章、第二章には明治三十二年より大正八年までの経緯を編年体で記述した。各節（各年度）の記述は「東京美術学校年報」抜粋、註、

『東京美術学校校友会月報』所載「東京美術学校近事」「教室雑俎」、関連事項（重要事項の解説）の順である。第三章には明治三十二年より大正八年までの東京美術学校校友会の活動概況を記した。第一巻補遺篇には第一巻脱稿後に収集した資料のうち、主なものを収録した。

○資料掲載の原則はおよそ次のとおりである。

原文の句読点、旧漢字、旧漢字と新漢字の併用、こと・とき・と・してなどはそのままとした。ただし、俗字や略字、変体仮名は通常の字体に直し、資料によっては読み易いように句点に当たたる箇所を一字あきとした。

新聞記事等、原文が総ルビの場合は必要と思われるものを除いてルビを省いた。

編者註記は「」内に記し、資料原文の（ ）と区別した。

誤記ないし誤植と思われる箇所には行間右側に「ママ」を付した。

「東京美術学校近事」「教室雑俎」の転載にあたってはその記事が掲載されている『東京美術学校校友会月報』の巻号数と発行年月日を「」に記した。

なお、現在では不適切とされる用語を一部に使用しているが、これは、本書が資料を原文どおりに掲載する方針をとっているためであって、このような用語を是認するものではない。

